このワークシートはhttp://nie.hokkaido-np.co.jp/でダウンロードできます

年　組　名前

道新でワークシート

民間と災害時協定次々

胆振東部地震後に釧路市が民間と結んだ災害時協定

協定の締結先	主な内容
苗穂自動車学園釧路支店	釧路自動車学校が所有するドローンで災害現場などを撮影
大塚製薬工場釧路工場	食料や飲料水などの生活物資や避難施設を提供してもらう
釧路塗装工業協同組合	市有施設が浸水した際、同組合が外壁や室内の汚泥を除去
釧路自動車販売店協会の会員15社	電気自動車を避難施設の非常用電源として活用
北海道エアポート	釧路空港とその周辺での消火救難活動において相互に協力
サンドラッグプラス	食料などの日用品を提供してもらう

胆振東部地震から3年

釧路市、物資や電源確保

停電時の混乱 風化懸念も

全域停電（ブラックアウト）を引き起こした胆振東部地震から6日で3年を迎えた。釧路、根室管内にも大きな影響を及ぼし、電源確保の重要さを改めて認識する契機となった。釧根では巨大地震による津波被害も想定され、釧路市は民間業者と協定を結んで対策を強化。一方、住民からは「3年がたち停電時の混乱を忘れつつある」と風化を懸念する声が上がる。（五十地隆造、伊藤凱）

胆振東部地震が発生した2018年9月6日以降、釧路市は民間事業者などと災害時の連携を進め、物資提供など計八つの災害時協定を締結。このうち市と釧路塗装工業協同組合は公共施設が津波などで浸水した場合に備え、塗装作業に使う高圧洗浄を活用し、外壁などを洗浄する訓練を7月下旬に市鳥取西児童センターで実施した。

同組合の田野貢代表理事は「災害時に市の施設を避難施設に利用するため、細菌が多く含まれる汚泥を早急に取り除く必要がある」と協定の意義を説明。訓練には鳥取西小の児童約40人も参加し、災害時の備えの重要性を学んだ。

協定は昨年6月に締結。道東沖の千島海溝沿いを震源とする巨大地震や津波の発生が懸念される中、釧路フィッシャーマンズワーフMOOなどが津波で浸水した11年の東日本大震災の被害を教訓とした。

災害時協定のうち昨年11月に締結した釧路自動車販売店協会の会員15社は所有する電気自動車を避難施設の非常用電源として活用するほか、店舗の電源を携帯電話の充電用として近隣住民に提供する体制を整えた。市防災危機管理課の島田勇気専門員は「行政だけでは大規模災害に対応しきれない。多様な機材や設備を持ち、それを活用する知識や経験も豊富な民間の力を借りることで備えを強化したい」と話す。

官民の連携が広がりを見せる一方、住民には全域停電や東日本大震災の記憶の風化を懸念する声も。3年前に一帯が停電した鳥取4丁目町内会の床義夫会長は「停電への備えが必要と町内会で話していたが、その後に新型コロナウイルスの感染が拡大し、具体的な備えや訓練ができていない。時間の経過とともに住民の危機感は薄れてしまう」と不安を口にした。

釧路市が釧路塗装工業協同組合と7月下旬に実施した公共施設の洗浄訓練。官民の連携による災害対策が広がっている

2021年9月7日（火）朝刊　地方（釧路・根室）　17ページ（記事は再編集しています）

①災害に備えてどのような取り組みが進んでいるでしょうか。官民の連携の視点から、その一例を50字以内で要約しましょう。

																						25
																						50

②みなさんは、どのような災害への備えをしていますか。もしくは、これからどのような備えをするとよいでしょうか。自分ができる備えを二つ書きましょう。

（　　）

（　　）